

新入職員紹介



生熊 浩気
(通所リハ・後列左から2人目)

地元、東城出身です。釣りとCARPが好きです。初めてのことでばかりで分からないこともありますが、頑張りますので宜しくお願いします。



谷口 賢一
(老健3階・後列右から2人目)

3月に専門学校を卒業し、4月からこぶしの里で、介護福祉士として働くことになりました。不安なことがばかりですが利用者の方と笑顔で接していきたいと思っております。



小磯 孝則
(リハビリ室・後列右から1人目)

昨年の7月から6ヶ月間、非常勤職員としてお世話になっていましたが、この度、正社員として働かせていただくこととなりました。皆様のご笑顔がまた見られると思うと、とても嬉しく思います。新人として気持ちを引き締めて頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



山川 直樹
(リハビリ室・後列左から1人目)

昨年の夏から、非常勤職員としてお世話になっていましたが、この度、正式な社員として働くことになりました。業務にも、最近ようやく慣れてきましたが、まだまだ右も左も分からない未熟者です。初心を忘れることなく、多くの方から、刺激をいただき、利用者の方の役に立てよう頑張ります。

藤浦 由貴
(老健1階・前列左)

地域に貢献できればと思い、こぶしの里でお世話になることになりました。学校を卒業したばかりで、ご迷惑をお掛けすることが多いと思いますが一生懸命、日々学習と思い、責任感を持ち社会人として、頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

関 典子
(通所リハ・前列中)

通所で働かせていただくことになりました関 典子です。地元で働けることができ、とてもうれしいです。これから、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、宜しくお願い致します。

勝間 直
(老健1階・前列右)

岩国市出身です。高校卒業後、16L健康福祉専門学校に進学し4月より、こぶしの里で働かせていただいております。一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。



梶川病院での入社式(こぶしの里からも出席)



編集後記

新年度を迎え、七人のフレッシュな新入職員を迎えたこぶしの里では、以前に増して活気にあふれた、活動を利用者の皆様と共に行っています。

一階駐車場にある、『こぶしの花』も、それを喜ぶように満開の花を咲かせ躍動感に満ちあふれています。

こぶしの里里報の内容も盛り込み、より充実した誌面作りをしていきますので、ご期待下さい。

これからの行事

- 4月26日(木) 介護予防講演会 川東集会所
- 5月12日(土) 介護予防講演会 福代公民館
- 5月14日(月) お誕生日会
- 6月16日(土) お誕生日会

介護予防講演会では、岩水理学療法士による、体操の実技指導もあります。



介護老人保健施設こぶしの里・こぶしの里病院 広報誌 **ハーイ!**

平成19年4月16日発行

第15号

こぶしの里です。

<http://www.koujinkai.org/kobushi/kobushiroken.html>

庄原市東城町川東152-4

TEL: 08477(2)5252

新年度のご挨拶

平成16年4月より「こぶしの里病院」の院長を拝命して、3年間すでに勤めています。医師となってから36年も経っているロートルですが、この間の大半に渡って(32年間)従事していた専門科が心臓血管外科でしたので、こちらの仕事に着いたときは勝手に違って随分戸惑うことも多々ありました。初心に帰って新しいことに取り組み、何事に対しても『謙虚に、真摯に認識吸収の喜びを感じよう』と、念じてやって参りました。高齢者医療が中心になりますが、我が国の医療政策は医療費抑制へ向かって大きく舵取りをしており、その影響として、高齢者医療が最も多大の打撃を受けようとしています。

かかる環境の許、少しでも良質の医療を提供できるよう工夫・精進をしたいと思っています。皆様、どうぞ宜しくお願いします。



こぶしの里病院 院長 石原 浩

町の花「こぶし」が白い清楚な花を咲かせて、待ち望んでいた春がやってきました。介護保険制度と同時にスタートした老人保健施設「こぶしの里」も7年目に入り、地域の皆様の温かいご理解を得て、順調に発展を続けております。これもひとえに、皆様のご支援があってこそと深く感謝申し上げます。

当施設では、ご利用者の意思と尊厳を大切にしながら、在宅あるいは施設で、望ましい生活を送れるよう総合的な支援を心掛けておりますが、特に安全・安心のサービスに加えてきめ細やかなリハビリテーションの提供、さらには生活の中に、生きがい・楽しみを感じていただけるよう、ご家族と共に多数の専門職が手を携えております。

これからも職員共々、地域の皆様と共に「森と文化の町」東城町に暮らす喜びを感じながら、高齢者のケアを積極的に担っていくことを目指してまいります。皆様の尚一層のご支援をお願いいたします。



介護老人保健施設こぶしの里 施設長 胡田 聡子



満開に咲いた「こぶしの花」 07.4.5



創傷治癒(傷が治ること)の迷信

春になりました。この陽気に誘われて、皆さん方も、屋外に出て、お花見、山菜取り、スポーツと、体を動かされる機会が多くなります。そういったとき、不幸にも怪我をしたら、皆様は、どのような処置をされていますか？

多分、次のように思って実行されておられる方が大半ではないでしょうか。

1. 傷は必ず消毒する、消毒しなければいけない
2. 傷は消毒しないと化膿する
3. 傷が化膿しないように十分消毒している
4. 傷が化膿したのもっとこまめに消毒する
5. 傷を清潔にするためにガーゼをあてる
6. 縫合傷は抜糸するまで絶対濡らしてはいけない
7. 痂皮(カサバタ)は傷が治るときにできる
8. 痂皮ができたら傷が治る



こぶしの里病院
副院長 坂下 充

ところが、今、列記したことが本当は全て間違いだ！！と言ったら皆さんはどのように思われるでしょうか。私も外科医になって8年間はそう思っていましたし、実際患者さんにも同じ処置をしていました。ですが欧米の創傷治癒に対する考え方や実際の処置、また論文発表を見て愕然としたのを覚えています。

現代医療の非常に進んだ日本でも、未だに創傷治癒の間違った思い込みや伝統によって、癬癩(硬く固まってしまう状態)やケロイド(傷がいつまでも赤く腫れて、痛みやかゆみが持続する状態)をつくりだしている医者が多いような気がします。欧米諸国に比べて創傷管理治癒では、40年遅れているのが現実です。

私も最初は半信半疑でしたが実際新しい創傷管理：湿潤療法を行うと、今までとは比べ物にはならないくらい痛みも少なく、なによりもきれいに治っていくので、今までは私のしていた処置はなんだったのと思うようになりました。

イソジンという消毒液をよく聞かれると思いますが、実際は眼に直接使えないような強力な消毒薬は創傷治癒の障害になるということが証明されています。ということはイソジンで消毒することは、無意味というよりも皮膚に障害を残す結果となるのです。傷をしたときにジクジクした汁みたいなのが出てくるのがよくありますが、以前は菌が入って膿が出ていると思っていました。ですがこの「ジクジク」は化膿しているのではなく、実はこの浸出液は創面にとってプラスに働く重要なものなのです。詳しい説明は当院に受診いただくか、NPO法人創傷治癒センターのHP <http://www.woundhealing-center.jp/index.html> をご参照ください。

図1は以前の創傷管理です。ジクジクした汁みたいなのが出ているのがよくわかると思います。毎日消毒し、ガーゼで保護しています。実はこの方法は間違っていたのです。

図2は同じような外傷です。これを図3のように湿潤状態を保つために特殊な保護剤を貼り閉鎖します。こうすることで浸出液は創面にとってプラスに働く重要なものなので、創傷治癒が促進し、なおかつきれいに治癒します。図4は治癒後のものですが、受傷後1週間であとも目立たないようにきれいになっています。

現在は市販されている新しい創傷保護剤は、従来のものに比べかなり高価なものになっています。医療機関で使用されているものは、多様な種類のもが使用されており、診療費用を入れても薬局で購入するよりはかなり安価です。きれいに傷を治したいのなら、だまされたと思って、やってみる価値は十分にあります。今後は湿潤療法が大いに発展していくのではないかと、僕自身は予想していますが、皆さんはいかがお考えでしょうか。



図1



図2



図3



図4

合同懇談会

『平成18年度民生委員・ひとり暮らし巡回相談員・老人クラブ合同懇談会』が、3月22日(木)こぶしの里で行われました。

実践報告・増床計画についての説明に続いて、岩水祐介理学療法士による「介護予防と地域づくり」の講演がありました。実技を交えた、分かりやすく大変興味深い講演で、54名の出席者の方からは、活発な意見や質問が出され、「ぜひ近くの公民館にも来て、話をしてほしい」という声が多く聞かれました。



ちびっこ神楽



3月1日(木)、まだまだ肌寒い頃、こぶしの里にかわいい神楽団がやってきました。

田森保育所の、『ちびっこ神楽団』です。元気の良い年長・年中児さんたち、かわいらしい乳児さんたちです。ごさ舞の見事なジャンプから始まり、小さなササノウノミコトの大蛇退治。あまりのかわいさ、一生懸命さに利用者さんからアメ玉の入ったおひねりが飛び交いました。それでは足りず、本物のおひねりまで飛び出しました。かわいい子ども達に元気を頂きました。



バイキング食卓



老健3階では、去る3月2日(金)に食のイベントとして、バイキング食卓を開催致しました。

当日の昼食のメニューに加え入所者の方々の手作りによるホットケーキや、よもぎ・ふきのとう・セリなどの山菜の下ごしらえで、「昔は、よう取って食べよ～った。」「あれも、うまかった。」など、手もよく動き、会話もはずみました。

お昼はご家族の方々と、にぎやかな食事会となりました。ご協力ありがとうございました。



個人情報保護の観点に基づき、利用者の皆様の写真掲載については、御本人等々の了解を得ております。



ピアノ演奏会

桜・こぶし・水仙・・・色とりどりの花が咲き揃う4月18日(水)の午後、通所デイルームでコンサートが開かれました。

約50年前に製造され福山市内の小学校で使われていたグランドピアノを、府中市の調律師・草田政昭さんが修理し贈って下さり、また、こぶしの里までの輸送やいすの新調にかかる費用を吉岡照美さんに、ご負担していただきました。再生されたピアノのやわらかい美しい音色を楽しみました。

利用者さんで埋められたデイルームには、福山市の高校教諭、湯谷和彦さんのピアノの音色と、東城町のオペラ歌手、吉岡和男さんの歌声が響き渡りました。



左より、湯谷和彦さん 吉岡和男さん 吉岡照美さん 草田政昭さん

「こぶしの里病院」診療科目 & 担当医師表

平成19年4月1日現在

区分	月	火	水	木	金	土	日
第一診療室	診療項目	循環器 糖尿病	循環器 糖尿病	循環器 消化器	循環器 消化器	循環器 消化器	循環器 消化器
	午前 9時~13時	石原	石原	坂下	坂下	坂下	
	午後14時~18時	石原	石原	石原	(午後休診)		(午後休診)
第二診療室	診療項目	整形外科	内科	循環器 高血圧・内科		内科	整形外科
	午前 9時~13時	内藤	木村	落久保		木村	新谷
	午後14時~18時	内藤	木村	落久保		木村	(午後休診)
第三診療室	診療項目		眼科	泌尿器科		消化器 肝臓	
	午前 9時~13時		(午前休診)	(午前休診)		浅海	
	午後14時~18時		藤原	久米・茶禰		(2週・4週)	
透析	午前 8時~18時	奥新		石原		坂下	
夜間・休日の当番医師	18:00~	18:00~	18:00~	14:00~	18:00~	14:00~	16:00~
	石原or奥新	木村	石原or坂下	石原or坂下	坂下	当番医	当番医or石原

日曜 当直
(9:00~16:00)
当番医

お花見ドライブ



東城町内の桜も満開になり、4月15日(日)に休暇村へ今回は初めて1階・3階合同で、お花見に出掛けました。

天候にも恵まれ、満開のこぶしや桜に囲まれ、入所者の皆さんと春を身近に感じることができました。桜の木の下で、お弁当もいただき、リハビリ職員による花笠踊りなどもあって、とても楽しく時間を過ごされました。

また、来年も桜の花が満開になる頃にお弁当を持って、お花見に行けるのを、今から楽しみに待っています。



こぶしの里病院・平成19年度当番院予定表

(お願い) 保険証を提示下さい。(保険証を変更されたときは、すぐにお知らせ下さい。)
若干変更になる場合がありますので、庄原市役所東城支所のオフトーク放送・新聞等で事前にご確認下さい。

4月29日(土)	昭和の日	10月28日(日)	日曜日
5月5日(土)	子どもの日	11月11日(日)	日曜日
5月20日(日)	日曜日	12月2日(日)	日曜日
6月17日(日)	日曜日	12月24日(月)	振替休日
7月15日(日)	日曜日	12月31日(月)	年末休
7月29日(日)	日曜日	1月6日(日)	日曜日
8月14日(火)	盆休	1月27日(日)	日曜日
9月2日(日)	日曜日	2月11日(月)	建国記念日
9月17日(月)	敬老の日	3月9日(日)	日曜日
10月7日(日)	日曜日	3月30日(日)	日曜日